

港湾局関係の指標の動向

国土交通省全体で27の政策目標、117の業績指標(うち港湾局関係は20指標)を定め、毎年チェックアップを実施している。

政策テーマ	政策目標 (アウトカム)	業績(アウトカム)指標	初期値	H16(実績値)	目標値
暮らし 生活空間の充実 等を通じた豊かな 生活の実現	バリアフリー社会の 実現	1日当たりの平均利用者数が5,000人以上 の旅客施設、その周辺等の主な道路、不特 定多数の者等が利用する一定の建築物及 び住宅のバリアフリー化の割合(旅客施設 の段差解消、視覚障害者誘導用ブロック)	【段差】39.4%(H14)	49.1%	7割強(H19)
			【誘導】72.0%(H14)	80.3%	8割強(H19)
	アメニティ豊かな生活 環境の形成	人々が海辺に親しむことのできる海岸の 延長	約6,700km(H14)	約6,780km	約6,800km(H19)
都市域における水と緑の公的空間確保量		12m ² /人(H14)	約4%増	13m ² /人(H19) (12m ² /人を約1割増)	
安全 防災の高度化の 推進と交通安全 対策の強化	水害等による被害の 軽減	津波・高潮による災害から一定の水準の 安全性が確保されていない地域の面積	約15万ha(H14)	約12.9万ha	約10万ha(H19)
	地震・火災による被害 の軽減	地震時に防護施設の崩壊による水害が 発生する恐れのある地域の解消	約13,000ha(H14)	約11,700ha	約10,000ha(H19)
		港湾による緊急物資供給可能人口	約1,900万人(H14)	約2,020万人	約2,600万人(H19)
	交通安全の確保	港湾におけるプレジャーボートの適正な 係留・保管率	45%(H8)	44%(H14)	55%(H18)
重要港湾において不正侵入を防止する設備を 完備している外航船用の公共港湾施設の割合		0%(H15)	100%	100%(H17)	
環境 地球環境から身近 な生活環境までの 保全・創造	良好な自然環境の保 全・再生・創出	失われた自然の水辺のうち、回復可能な 自然の水辺の中で再生した水辺の割合	0(H14)	8%	約2割(H19)
		失われた湿地や干潟のうち、回復可能な 湿地や干潟の中で再生したものの割合	約2割(H14)	約2割	約3割(H19)
		生物多様性の確保に資する良好な樹林等 の自然環境を保全・創出する公園・緑地	0ha(H14)	約700ha	概ね 2,400haを確保(H19)
	良好な水環境への 改善	湾内青潮等発生期間の短縮	0(H14)	H14年度比 約5%増(H15)	H14年度 比約5%減(H19)
	循環型社会の形成	可能な限り減量化したうえで海面処分場 でも受入が必要な廃棄物の受入	100%(H14)	100%(暫定値)	100% (H17年度以降毎年)
循環資源国内輸送コスト低減率		0(H14)	H14年度比 約7%減	H14年度比 約1割減(H19)	
活力 都市再生や地域 連携、観光振興等 を通じた、魅力と 活力にあふれる経 済社会の形成	国際的な水準の交通 サービスや国際競争力 等の確保・強化	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比 2.1%減	H14年度比 5%減(H19)
		船舶航行のボトルネック解消率	75%(H12)	81%	90%(H18)
	物流の効率化	複合一貫輸送に対応した内貿ターミナル から陸上輸送半日往復圏の人口カバー率	75%(H12)	79%	80%(H18)
		フェリー等国内貨物輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比 1.5%減	H14年度比 4%減(H19)
共通の政策課題	IT革命の推進	港湾EDIシステムの普及率	22.0%(H13)	85.5%	100%(H17)
		公共施設管理用光ファイバ等収容空間 ネットワークの延長	31,050km(H14)	32,500km	32,500km(H16)

注1) 当指標は気象・海象等にも影響される。
 □の指標は社会資本整備重点計画の指標も兼ねている。
 2) 指標値は年度末の値